



## 人やまちとかかわりながら

副校長 小野 由紀

梅雨の合間の晴れ間に、夏を感じる頃となりました。梅雨明けが待ち遠しいですが、この時期の雨は農作物や植物にとって恵みの雨となります。正門の花壇に咲く花々の色も一段と鮮やかになり季節の移り変わりを教えてくれているようです。

校内には、数か所花壇があり、主に環境委員会の児童が活動を通して手入れをしています。保護者の有志の方々や「ふるさと舞岡花さかクラブ」の方々が、季節の花々の植替えなどの整備を手伝ってくださっています。舞岡小学校が季節の花々に彩られた素敵な学校であるのは、地域や保護者の方々が学校のためにお力を貸してくださっているからこそだということに改めて気づき、あたりまえのように「きれいだな」と花壇を眺めていましたが、感謝の気持ちでいっぱいになりました。また、先日2年生が、生活科の授業で花さかクラブの方々と一緒に遊水地公園の花壇の花植えを行いました。地域の方々と共に花を植える活動を通して、公園の花壇に花を植える作業に喜びを感じたり、花さかクラブの活動に興味を示したりするなど、地域の方と関わる経験が次の学びへとつながるきっかけとなったようでした。



6月7日に、第1回学校運営協議会が行われました。今年度も舞岡のまちとともに学校づくりをすすめるため、地域の委員の方々に授業を参観していただき、学校経営方針や児童の様子について意見をいただきました。さらに6月10日の、土曜参観では、多くの保護者の皆様に子どもたちの学習の様子をご覧いただきました。学校説明会では、本校の今年度の取組についてご説明いたしました。ここ数年は、人やまちと直接かかわったり、集団で体験したりすることが難しい時期が続いていましたが、学校行事や地域行事などがコロナ禍以前に戻り始めています。日々の学びをつなげ、日常生活や社会の中で、生きてはたらく力を身につける確かな学びを目指すためには、学校と家庭、地域で協働して子どもたちを見守り、支えていくことが必要となります。様々な場面で、人やまちとのかかわりを大切にしてコミュニケーション力を育成し、学校教育目標「見つめ、認め、ともに生きる」の実現のためにお力をお貸しください。引き続き子どもたちの学びや成長を支えていけるよう、職員一同取り組んでまいります。

子どもたちは、7月21日(金)から夏休みとなり、ご家庭や地域で過ごすこととなります。夏休みは、いろいろな学習や体験をするチャンスです。子どもたちが、それぞれのペースで一步前に成長できるように、地域や保護者の皆様に支えていただけたら幸いです。